

日 時 令和 7 年 7 月 17 日（木）18 時 30 分 ～ 19 時 40 分

場 所 新屋多目的集会所

対象地区 新屋

参加人数 10 名

■要望、質疑応答

内 容
○防犯灯設置要望（マックスバリュ〜新屋神社）について （市民から） マックスバリュから新屋神社までの区間に学生の通行が多いが、防犯灯が 1 つもないことから、特に秋以降は暗く危険である。防犯灯を設置してほしい。 （市から） ・現地確認済みであるが、途中で電柱がない区間があり、新たに電柱を立てる必要があるため、費用は億単位にのぼる見込みで実現が難しい。 ・小中学校の通学路に該当しないため、優先順位としては対応が難しい。 ・反射シールなど、簡易的な代替手段を検討していきたい。 （市民から） 柏木農業高校周辺では仮設型防犯灯（ソーラータイプ）を設置しており、別の方法で対応も検討いただきたい。町居分岐の交差点〜神社までの区間だけでもよいので設置を希望する。 参考までに、尾崎地区は、町会がトンネル前に防犯灯を設置した。（夜間の学生自転車利用のため） （市から） ・市は防犯灯の LED 化を実施済みであり、今後は市で経費を負担していく。 ・交差点の区間からでも、再調査し、検討していきたい。 ・再調査を行い、検討を継続する方針である。 ・市では防犯灯の LED 化に取り組んでおり、経費負担の観点から即応は困難だが、調査は継続する。
○企業誘致と生活インフラ整備について （市民から） （株）マイクロニクス青森工場に勤務しているが、企業誘致とあわせて、働く人の生活基盤（住居・交通等）整備も進めているのか懸念している。市の今後の方針を伺いたい。 （市から）

- ・旧平賀町・旧尾上町の企業誘致用地は概ね埋まっており、現在は旧グラウンド跡地などを活用している。
- ・誘致可能地の多くが市街化調整区域で、開発許可が下りない場合がある（農地転用も課題）。
- ・定住促進も兼ねた形で誘致を検討していきたいと考えている。
- ・コンサルタントと連携し、約 1000 社を対象に企業ニーズ調査を実施済である。
- ・現在、誘致企業の選定中である。(株)マイクロニクスとも協議を継続し WinWin の関係を目指していきたいと考えている。
- ・インフラ整備については東北電力と打合せ予定である。
- ・住宅整備（特に賃貸）に関しても、弘前市からの通勤者が多いと(株)マイクロニクスから意見をいただいたので、整備を検討していきたい。
- ・10 年後を見据え、雇用創出と住環境整備を進めていく。

○防災リーダー活動の市内展開について

（市民から）

市の助成制度を利用し、防災士の資格を取得している。

また、一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと（青森市）の「女性防災リーダー」資格を取得した。今後は、女性目線での防災（避難生活・子ども対応など）を市内中学校でも展開していきたいと考えている。

弘前市役所職員や、板柳町役場の職員及び住民に対しては、事業として、避難所運営のノウハウを提供した実績がある。平賀東中学校では 2 年前に実施済、11 月に再実施予定であり、市からは段ボールベッドなどの備品提供をお願いしたい。

（市から）

- ・避難所訓練は継続的な取り組みが重要と考えている。学校と連携しながら調整を進めていきたい。
- ・過去の震災を踏まえ、当市でも自主防災組織に力を入れており、防災士資格取得に対する市の助成を実施している。
- ・女性やジェンダー視点を踏まえた訓練に対し、今年度の市協力を前向きに検討していきたい。
- ・総務課危機管理係で備品提供の協力をしていきたい。

○農村公園の遊具整備について

（市民から）

草刈り等の管理は町会で実施しているが、遊具が著しく減少しており、子どもたちが可哀想であると考えている。保育園児も利用するため、遊具の設置を希望する。

（市から）

・遊具の新設・更新には市の統一基準があり、設置可能か確認し対応していきたい。
○カーブミラーについて (市民から) 見えづらい・破損したミラーが見受けられるので、安全のためにも修繕を希望したい。 (市から) ・現地確認を行い、緊急性の高いものは優先的に対応している。 ・早急に対応が必要なものは、市民課への連絡をお願いします。
○U ターン者や高齢層への支援について (市民から) 60 歳で U ターンし、就農しているが若者向け支援に偏りすぎではないか。高齢でも農業や定住を希望する人の支援が必要であると考える。 (市から) ・国の支援制度「新規就農者育成総合対策」(150 万円／年×3 年) は 49 歳までとなっている。 ・市独自で、令和 7 年度から 50 歳～60 歳も対象とする制度に拡充している。 ・今後、61 歳～の支援も検討していきたい。
○イルミネーション・中央公園の活用について (市民から) 駅前のイルミネーションをもっと大々的にしてほしい。中央公園の遊具や広場を、飲食や体験も含めて一体活用できるようにしてほしい。 (市から) ・令和 6 年度から中央公園や庁舎に台湾提灯(約 700 個)を設置済。最大で 1000 個を予定している。 ・年間 700 万円規模のコストがかかっており、今後はイベント等ソフト面での充実を図りたい。 ・以前、本日参加の工藤氏の事業で、シャボン玉イベントを実施したが、大変好評であった。今後も子どもが楽しめる企画を検討していきたい。 ・駅前・市役所・中央公園等を一体的に活用する構想を「みらい戦略室」で検討中である。
○空き家問題(新屋福島地区)について (市民から) 大雪で小屋が倒壊し、市道に支障が出そうな空き家がある。対応していただきたい。

(市から)

- ・現場確認をしたが、所有者となかなか連絡が取れない状況である。弘前市の親族と連絡をとるなどにより、対応中である。
- ・現時点では空家法に基づく「特定空家等」には該当しないが、今後も指導を継続していきたい。

○財産区基金の活用について

(市民から)

新屋町会で「ねぶた」骨組み更新にあたり、財産区基金から 300 万円の支出を希望する。時期は来年度になる見込み。参考として、数年前にゴミ集積箱に充当しているが、集会所改修(150 万円)にも同基金を充当予定である。

(市から)

- ・基金の使用可否については確認のうえ後日回答したい。
- ・「ねぶた」は今年度 25 台を予定している。宮下県知事も来訪予定で、地域の盛り上げに繋がる行事として意義を認識している。
- ・集会所改修には、国の「地域防災拠点整備等緊急促進事業補助金(令和 7 年度終了)」を活用予定である。